

【資料】 調査票

平成 28 年 11 月

兵庫県の NPO 法人に関する活動調査アンケート

社会ネットワークと非営利組織研究プロジェクト

代表：鈴木 純（神戸大学大学院経済学研究科 准教授）

宮垣 元（慶應義塾大学総合政策学部 教授）

調査協力：柏木 登起（NPO 法人 シミンズシーズ）

《ご協力のお願い》

私ども「社会ネットワークと非営利組織研究プロジェクト」では、日本学術振興会科学研究費の助成を受け*、NPO の社会的意義や地域社会とのつながり等について学術的な研究を進めています。このたび、研究プロジェクトの一環で、兵庫県内の NPO 法人に関するアンケート調査を企画しました。NPO 法人の活動の実際や、活動に際しての課題についてうかがい、社会におけるよりよい協働や組織づくりの方策等について分析・検討するための基礎資料とさせていただきます。

このアンケートは、兵庫県内に所在するすべての特定非営利活動(NPO)法人 2,157 団体にお送りしています。ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理しますので、個々の団体の回答内容が外部に出ることは決してありません。アンケートの結果は電子データとして機密処理を施した上で保管し、アンケート用紙は一定期間後に溶解処分します。また、調査結果を学術研究以外の目的に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、以上の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本調査についてのお問い合わせ先：

NPO 法人 シミンズシーズ

tel：079-422-0402， E-mail：info@npo-seeds.jp

担当：柏木登起

☆ご回答に際して

貴団体の代表者や組織運営に携わるスタッフなど、貴団体の事情によく通じた方がお答えいただけますようお願い申し上げます。

ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、12月20日(火)までにご投函願います。切手は不要です。

* 「非営利組織と社会的ネットワークの機能連関と政策：関係財理論の経済社会学的展開」基盤 C，（代表）鈴木純
「阪神・淡路大震災後における NPO と地域コミュニティの相互作用過程の検証」基盤 C，（代表）宮垣元

I まず、貴団体の発足に関わることやメンバーのことについておたずねします。

【問1】 貴団体の発足時期と法人格取得時期をお答えください。発足時期と法人格取得時期が同じ場合は、同じ数字をご記入ください。

A. 団体が発足した時期 西暦（ ）年 B. 法人格を取得した時期 西暦（ ）年

【問2】 貴団体の主たる事務所の所在地を次の中から1つ選び、○をつけてください。

1. 神戸 2. 阪神南 3. 阪神北 4. 東播磨 5. 北播磨
6. 中播磨 7. 西播磨 8. 但馬 9. 丹波 10. 淡路

【問3】 貴団体が発足した経緯についておたずねします。以下に挙げる選択肢のうち、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 設立メンバーが自ら呼びかけを行って発足した
2. 行政や社協、中間支援組織などの呼びかけや働きかけをきっかけとして発足した
3. その他
4. 分からない

【問4】 貴団体には以下に挙げる人がそれぞれ何人いますか。具体的な人数でお答えください。

A. 事務局スタッフ（団体の運営に関わるスタッフ）	（ ）人くらい
B. 事務局スタッフ以外で日常的に活動に携わっている人（ボランティア含む）	（ ）人くらい
C. 正会員（NPO法上の社員）全体	（ ）人

次の【問5】から【問8】は、【問4】でお訊きした「A. 事務局スタッフ」や、「B. 事務局スタッフ以外で日常的に活動に携わっている人（ボランティア含む）」についておたずねします。

【問5】 「A. 事務局スタッフ」と「B. 事務局スタッフ以外で日常的に活動に携わっている人」の男女比について、それぞれ最も近い選択肢の番号を回答欄にご記入ください。

1. ほとんど男性 2. やや男性が多い 3. ほぼ同じくらい 4. やや女性が多い 5. ほとんど女性

回答欄

A. 事務局スタッフ（ ） B. その他の活動者（ ）

【問 6】 「A.事務局スタッフ」と「B.事務局スタッフ以外で日常的に活動に携わっている人」には、次の年齢層の方がいますか。それぞれ当てはまるものすべてに○をつけてください。

	29 歳以下	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70 歳以上
A. 事務局スタッフの年齢層	1	2	3	4	5	6
B. その他の活動者の年齢層	1	2	3	4	5	6

【問 7】 「A.事務局スタッフ」と「B.事務局スタッフ以外で日常的に活動に携わっている人」は、どのようなきっかけで参加されましたか。よくある参加経路として、それぞれ当てはまるものすべてに○をつけてください。

	A. 事務局スタッフ	B. その他の活動者
貴団体のスタッフからの紹介	1	1
他のボランティア団体や NPO からの紹介	2	2
中間支援組織からの紹介	3	3
行政や社会福祉協議会からの紹介（ボランティアセンターなど）	4	4
会報・広告やチラシを通じて	5	5
イベント・シンポジウムを通じて	6	6
ホームページや SNS を通じて	7	7
その他	8	8

【問 8】 「A.事務局スタッフ」と「B.事務局スタッフ以外で日常的に活動に携わっている人」のうち、貴団体において、有給で働いている人の割合はどのくらいですか。常勤、非常勤に関わらず、給与がある場合は有給と考えてお答えください。

A. 事務局スタッフのうち、有給の人の割合：（ ）割くらい

B. その他の活動者のうち、有給の人の割合：（ ）割くらい

【問 9】 貴団体の代表者（貴団体の組織運営において、実質的に最も中心となっている方）のことについておたずねします。以下の項目について、それぞれお答えください。

A. 貴団体における肩書・役職	1. 理事長・代表理事	2. 事務局長	3. その他
B. 性別	1. 男性	2. 女性	
C. 年齢	（ ）歳		
D. 貴団体に所属している年数	（ ）年くらい		
E. 代表をつとめている年数	（ ）年くらい		
F. 設立から数えて何代目の代表者か	（ ）代目		

II 次に、貴団体の活動状況についておたずねします。

【問 10】 貴団体の活動分野についておうかがいします。定款に記載しているかどうかに関わらず、実際に活動している分野についてお答えください。

【問10-1】 現在、貴団体は実際にどのような活動をしていますか。以下のうち当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------------------------|
| 1. 保健・医療または福祉の増進 | 11. 国際協力 |
| 2. 社会教育の推進 | 12. 男女共同参画社会の形成の推進 |
| 3. まちづくりの推進 | 13. 子どもの健全教育 |
| 4. 学術・文化・芸術・スポーツの振興 | 14. 情報化社会の発展 |
| 5. 観光の振興 | 15. 科学技術の振興 |
| 6. 農山漁村または中山間地域の振興 | 16. 経済活動の活性化 |
| 7. 環境の保全 | 17. 職業能力の開発や雇用機会の拡充支援 |
| 8. 災害救援 | 18. 消費者の保護 |
| 9. 地域安全 | 19. 上記活動団体の運営または活動に関する連絡、助言、または援助 |
| 10. 人権の擁護または平和の推進 | 20. その他 |

【問10-2】 そのうち、貴団体が現在最も中心的に行っている活動はどれですか。当てはまるもの 1 つの番号をご記入ください。

最も中心的な活動分野 ()

【問 11】 貴団体の主な活動地域はどれに該当しますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 小学校区内 | 2. 中学校区内 |
| 3. 1 つの市町内（神戸市では区内） | 4. 複数の市区町内（郡域など） |
| 5. 県内全域 | 6. 県域を越えた広域（海外を含む） |

【問 12】 貴団体では、以下のような活動をどのくらいの頻度で行っていますか。それぞれおおよその数値をご記入ください。その活動を行っていない場合は「0」をご記入ください。

A. 理事会	年 () 回	D. ニュースレター発行	年 () 回
B. 総会や理事会以外の定例会議	年 () 回	E. 団体内での親睦会	年 () 回
C. 不定期に開催されるミーティング	年 () 回	F. 団体内での旅行・合宿	年 () 回

【問 13】 貴団体には以下のものがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|------------------|---------------------|
| 1. ホームページ・SNS | 2. 団体メンバーの名簿 | 3. 定款以外の明文化された規約・会則 |
| 4. 専用の事務所スペース | 5. 相談できる税理士・司法書士 | 6. どれもなし |

【問 14】 次に、貴団体の財政状況についておうかがいします。

〔問14-1〕 平成 27 年度の収入総額（会費、事業収入、行政からの補助金、寄付金、その他の収入の合計）はおおよそいくらですか。以下の中から最も近いもの 1 つに○をつけてください。

- 1. 10 万円未満
- 2. 10 万円以上 50 万円未満
- 3. 50 万円以上 100 万円未満
- 4. 100 万円以上 200 万円未満
- 5. 200 万円以上 500 万円未満
- 6. 500 万円以上 1000 万円未満
- 7. 1000 万円以上 2000 万円未満
- 8. 2000 万円以上 3000 万円未満
- 9. 3000 万円以上

〔問14-2〕 平成 27 年度の収入の内訳についておたずねします。以下に挙げる項目は、収入総額の何割を占めていますか。合計が「10」になるように、それぞれ具体的な数値をご記入ください。また、その項目の収入がない場合は「0」を記入してください。

	A. 会費	B. 寄付金	C. 自主事業収入	D. 行政からの受託事業収入	E. 助成金補助金	F. その他	合計
※記入例	2	4	2	1	1	0	10
記入欄							10

【問 15】 以下に挙げる項目は、5 年前と比べてどう変化しましたか。それぞれ当てはまるもの 1 つに○をつけてください。貴団体が 5 年前に発足していなかった場合は「8」に○をつけてください。

	大きく増えた	やや増えた	同じくらい	やや減った	大きく減った	5 年前は未発足
A. 事務局スタッフの数	1	2	3	4	5	8
B. 事務局スタッフ以外で日常的に活動に携わっている人の数 (ボランティア含む)	1	2	3	4	5	
C. 有給スタッフの数	1	2	3	4	5	
D. 正会員（社員）の数	1	2	3	4	5	
E. 年間総収入	1	2	3	4	5	
F. 寄付金	1	2	3	4	5	
G. 自主事業の収入	1	2	3	4	5	
H. 行政からの受託事業の収入	1	2	3	4	5	
I. 助成金・補助金	1	2	3	4	5	
J. 活動・事業の種類	1	2	3	4	5	
K. 活動・事業の数	1	2	3	4	5	
L. 活動・事業の対象地域	1	2	3	4	5	
M. 団体内の親睦会の頻度	1	2	3	4	5	

【問 16】 貴団体は以下に挙げる事業を行っていますか。行っているものすべてに○をつけてください。どれも行ってない場合は「5. どれも行ってない」に○をつけてください。

1. 介護保険事業 2. 支援費事業 3. 指定管理者制度受託事業
4. その他の行政からの受託事業 5. どれも行ってない

【問 17】 貴団体と他の組織・団体の関係についておたずねします。貴団体は以下に挙げる組織・団体と協働や連携をしていますか。行っている協働や連携の内容として当てはまるものすべてに○をつけてください。その組織・団体と協働や連携をしていない場合は「どれもしていない」に○をつけてください。

	情報交換 相談	勉強会 交流会	イベントへの 参加・協力	人材紹介 人材派遣	場所や資金の 提供を受ける	協働事業	その他	どれもして いない
※記入例	①	2	3	④	⑤	6	7	8
A. 行政	1	2	3	4	5	6	7	8
B. 社会福祉協議会	1	2	3	4	5	6	7	8
C. 民間企業	1	2	3	4	5	6	7	8
D. 生活協同組合 (コープこうべ等)	1	2	3	4	5	6	7	8
E. 病院・福祉施設	1	2	3	4	5	6	7	8
F. 学校 (幼稚園、保育所含む)	1	2	3	4	5	6	7	8
G. 社団法人・財団法人	1	2	3	4	5	6	7	8
H. 地縁団体 (自治会、町内会、婦人会等)	1	2	3	4	5	6	7	8
I. NPO 法人 ボランティア団体	1	2	3	4	5	6	7	8

【問 18】 貴団体は、過去5年の間に、次にあげるような活動を行ったことがありますか。行ったことがあるものすべてに○をつけてください。どれも行ったことがない場合は、「6」に○をつけてください。

1. 行政への政策提言や意見書の提出
2. 行政への、団体の活動に関連した要望・陳情
3. デモや集会への参加
4. 社会的な問題に対する意見の表明
5. 署名活動への協力
6. どれもしていない

III 次に、貴団体の利用者についておたずねします。

【問 19】 貴団体は、介護、介助、教育、子育て支援、就労相談など、特定の利用者に対して継続的にサービスを提供するような活動を行っていますか。 行っている場合は、最も中心的なサービスの内容 1 つを具体的にお書きください。

1. 提供している 2. 提供していない (IV 【問 20】へお進みください)

↳ 最も中心的なサービスの内容 _____

 [問 19—1] から [問 19—5] までは、貴団体のサービスを受けている利用者についておたずねします。

[問19—1] 貴団体の現在の利用者はおおよそ何人くらいですか。

() 人くらい

[問19—2] 貴団体の利用者は 5 年前と比べてどのように変化しましたか。最も近いもの 1 つに○をつけてください。

1. 増えた 2. やや増えた 3. 同じくらい 4. やや減った 5. 減った 8. 5 年前は未発足

[問19—3] 利用者の年齢層についておたずねします。

- (1) 利用者には次の年齢層の人がいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。
 (2) そのうち、最も多い年齢層はどれですか。当てはまるもの 1 つ に○をつけてください。

	29 歳以下	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70 歳以上
(1) 利用者の年齢層 (当てはまるもの <u>すべて</u> に○)	1	2	3	4	5	6
(2) 最も多い年齢層 (当てはまるもの <u>1 つ</u> に○)	1	2	3	4	5	6

[問19—4] 貴団体の利用者は、どのようなきっかけで利用し始めることが多いですか。よくあるきっかけとして、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 団体のメンバーからの紹介 2. 他の利用者からの紹介
 3. 中間支援組織からの紹介 4. 他のボランティア団体や NPO からの紹介
 5. 会報・広告やチラシを通じて 6. 行政や社会福祉協議会（ボランティアセンターなど）からの紹介
 7. ホームページや SNS を通じて 8. イベント・シンポジウムを通じて
 9. その他

【問19-5】 利用者に関する次のようなことがらについて、貴団体ではどの程度当てはまりますか。最も近いもの1つに○をつけてください。

	当てはまる	はやや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
A. 団体メンバーと利用者の中に、個人的な付き合いがある	1	2	3	4
B. もともと利用者だった人やその家族が、団体メンバーになることがある	1	2	3	4
C. もともと団体メンバーだった人やその家族が、利用者になることがある	1	2	3	4
D. 利用者が十分満足できるような質のサービスを提供できていない	1	2	3	4
E. 利用者のニーズに対して供給が追いつかない	1	2	3	4
F. もっと利用者を増やしたい	1	2	3	4

IV 次に、貴団体のふだんの様子についておたずねします。

【問 20】 貴団体では次のことがどの程度当てはまりますか。最も近いもの1つに○をつけてください。

	当てはまる	はやや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
A. 世間からどう評価されているか意識しながら活動している	1	2	3	4
B. 行政の政策動向を意識して活動や事業を行っている	1	2	3	4
C. 行政の指導や助言に従って事業を運営することが多い	1	2	3	4
D. スタッフは組織の目標をよく理解している	1	2	3	4
E. スタッフは組織の設立経緯をよく知っている	1	2	3	4
F. 一人ではなく複数人で業務に当たることが多い	1	2	3	4
G. 活動の方針は常にみんなで議論して決めている	1	2	3	4
H. 会議は普段、和気あいあいとした様子で進行する	1	2	3	4
I. 活動に関する情報はみんなで十分に共有されている	1	2	3	4
J. スタッフ同士で食事や遊びに行くことがよくある	1	2	3	4

【問 21】 貴団体では次のことがどのくらい当てはまりますか。最も近いもの1つに○をつけてください。

	当てはまる とてもよく	当てはまる	やや当て はまる	あまり当て はまらない	当てはまら ない
【貴団体が抱える課題について…】					
A. 活動資金の獲得が難しい	1	2	3	4	5
B. 活動場所の確保が難しい	1	2	3	4	5
C. 団体の社会的信用や認知が低い	1	2	3	4	5
D. 組織運営のノウハウが乏しい	1	2	3	4	5
E. リーダーや指導力を発揮できる人がいない	1	2	3	4	5
F. 人手が足りない	1	2	3	4	5
G. 業務に追われて組織全体に余裕がない	1	2	3	4	5
H. スタッフのモチベーションが低い	1	2	3	4	5
I. スタッフ間で意見の対立がよく起こる	1	2	3	4	5
J. 世代交代ができない	1	2	3	4	5
【貴団体の今後の活動について…】					
K. 地域社会とのつながりをもっと強化したい	1	2	3	4	5
L. 活動地域を今より広げたい	1	2	3	4	5
M. 新しい分野に進出したい	1	2	3	4	5
N. 他の組織・団体との連携や協働を強化したい	1	2	3	4	5

質問は以上です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

兵庫 NPO データブック 2018

2018 年 10 月発行

■調査実施・分析・編集

社会ネットワークと非営利組織研究プロジェクト

鈴木純（神戸大学），宮垣元（慶應義塾大学），山本圭三（摂南大学），
猿渡壮（島根大学），西岡暁廣（同志社大学）

■発行

兵庫県社会福祉協議会 ひょうごボランティアプラザ

〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-1-3 神戸クリスタルタワー6 階

TEL：(078) 360-8845 FAX：(078) 360-8848 E-mail：vplaza@hyogo-wel.or.jp

